

ときめき人

Tokimeki bito

登米の元気が全国一に 音健アワード最優秀賞受賞



最優秀賞作品
「認知症予防！
金太郎体操」

自らの元気な姿が広告塔と話す会長の岩渕つや子さん(右)と会員の千葉直江さん。



特別賞に輝いた俳優の松平健さんと並び、受賞後の記念撮影をする岩渕さんと千葉さん。

中田町老人クラブ女性部を中心に結成された「ODK15」が、健康づくりの取り組みを表彰する祭典「音健アワード2019」(日本音楽健康協会主催)で最優秀賞を受賞した。

音健アワードは、全国の歌と音楽を用いた健康づくり活動に伴う音楽レクリエーションから秀逸な事例を表彰するもの。「私たちのような高齢者でも元気を伝える地域のリーダーに」を合言葉に、平均年齢78歳のODK15は、長沼フートピア公園や幼稚園などで、子どもからお年寄りまでみんなで踊った「認知症予防！金太郎体操」を出品した。

全国から優れた作品として選ばれた9団体が祭典に参加し、作品についてプレゼンした後、最優秀賞が発表される。クオリティーの高い作品が多く、

他の団体では専門職やインストラクターなどがプレゼンする中、最後にODK15が作品をプレゼン。映像が流れると、登米市の大自然の中で、手作りの金太郎の衣装を着たODK15のメンバーが、笑顔で子どもたちとハイタッチするアットホームな映像に会場は笑いに包まれた。「登場する人たちの楽しそうな表情にこちらまで笑顔にさせられる」と審査員から好評を受けたODK15の作品が、全国の頂点に。岩渕会長は「受賞は、積極的に活動に参加してくれた会員と社会福祉協議会など支えてくれた関係者のおかげ。みんなで健康を維持して、また最優秀賞を狙いたい」と喜びを語った。

笑顔の絶えない会員が、自らの元気を広告塔に、心と体の健康を届けている。

編集後記

▼新型コロナウイルス感染症の影響で外出自粛など、生活の幅が狭まるなか、「おうち時間」に注目が集まりました。私は後回しになっていた、家の掃除にチャレンジ。できないことにストレスを感じるのではなく、今できることは何かを考え、この時期を過ごしたいと思います。(小野寺)

▼自宅にいる時間が増え、運動不足となった体にとって、田植え作業は大きな負担に。外出自粛を言い訳に、運動せず、お酒の量が増えた付けが回ってきたことを実感しています。気持ちを奮い立たせ、室内でできる運動にチャレンジしていきたいと思います。(三浦)

▼もともとアウトドア派ではありませんが、新型コロナウイルス感染症の影響で、すっかり外出の機会が増えました。今号では、市内の桜を紹介しました。たくさんのお名所の中から一部を紹介になりますが、紙面でお花見を楽しんでください。(佐々木)



登米市公式ホームページ

(新型コロナウイルス感染症の影響に伴うイベント中止などの情報は市公式ホームページでお知らせしています。) <https://www.city.tomemiyagi.jp/>



登米市メール配信サービス

(防犯や防災、イベント・市政に関する情報をメールでお届けします。) <https://mail.cous.jp/tomecity/>

